



# 八代市の農業



令和8年1月

八代市農林水産部

# 目 次

## 第1 八代市の概況

1. 立地条件	1
2. 人口及び世帯数	1
3. 市民所得	2

## 第2 本市農業の概要

1. 耕地面積	3
2. 農家数	3
3. 農業従事者数	4
4. 作付面積	5
5. 農業生産額	5

## 第3 課題及び対策

1. 生産対策	7
2. 担い手対策	8
3. 食の拠点・ブランドづくり	8
4. 国内外の販路・連携体制づくり	8

## 【資料編】

1. 令和6年度 事業実績一覧	10
2. 八代市単独事業実績	17
3. 地区別農家数及び販売規模別農業経営体数	27
4. 地区別農業従事者数（男女別、年齢別）	28
5. 主要農畜産物生産の推移（品目別）	29
6. 農地流動化の状況	31

# 第1 八代市の概況

## 1. 立地条件

八代市は、九州の中央部、熊本市の南約 40 km に位置し、市域は東西約 50 km、南北約 30 km で、約 680 km<sup>2</sup> の面積を有しています。

東は九州山地の脊梁地帯を形成し宮崎県に境を接し、西は不知火海を隔てて天草諸島を望みます。全面積の約 70% が山間地、約 30% が平野部からなっており、平野部は日本三急流の一つである球磨川及び氷川などから流下した土砂が堆積してできた扇状地と三角州を基部とした沖積平野と、藩政時代から行われてきた干拓事業により形成されています。

山・川・海そして広大な平野と多様で豊かな自然に恵まれており、特に一級河川の球磨川、氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地帯として発展してきました。

## 2. 人口及び世帯数

八代市は、平成 17 年 8 月、近隣 6 市町村が合併し、人口 136,886 人の県下第二の都市、新「八代市」としてスタートしました。その後、少子高齢化の影響などにより減少傾向が続いており、令和 2 年には 123,067 人となり、10 年間で 9,199 人 (△7.0%) 減少しています。

【各年 10 月 1 日現在】

年 次	世帯数	人 口		
		総人口	男	女
平成 12 年	46,056	140,655	65,917	74,738
平成 17 年	46,983	136,886	63,823	73,063
平成 22 年	47,458	132,266	61,446	70,820
平成 27 年	47,972	127,472	59,221	68,251
令 和 2 年	49,204	123,067	57,298	65,769

資料:「国勢調査報告」



### 3. 市民所得

令和4年度の市内総生産は約4,237億円であり、そのうち農業は3.4%にあたる約145億円となっています。

#### 経済活動別市内総生産

(単位:百万円、%)

経済活動の種類	令和3年度		令和4年度		
	実数	構成比	実数	構成比	対前年度増加率
1 農業	14,413	3.3	14,496	3.4	0.6
2 林業	1,088	0.2	1,035	0.2	△ 4.9
3 水産業	135	0.0	141	0.0	4.4
4 鉱工業	99,583	22.6	91,109	21.5	△ 8.5
5 電気・ガス・水道業・廃棄物処理業	13,940	3.2	10,600	2.5	△ 24.0
6 建設業	48,295	11.0	34,459	8.1	△ 28.6
7 卸売・小売業	39,508	9.0	41,110	9.7	4.1
8 運輸・郵便業	27,744	6.3	31,046	7.3	11.9
9 宿泊・飲食サービス業	4,640	1.1	5,535	1.3	19.3
10 情報通信業	1,667	0.4	1,680	0.4	0.8
11 金融・保険業	13,328	3.0	14,991	3.5	12.5
12 不動産業	36,718	8.3	36,305	8.6	△ 1.1
13 専門・科学技術・業務支援サービス業	20,911	4.7	20,506	4.8	△ 1.9
14 公務	21,129	4.8	21,292	5.0	0.8
15 教育	19,262	4.4	19,497	4.6	1.2
16 保健衛生・社会事業	55,957	12.7	56,790	13.4	1.5
17 その他のサービス	17,863	4.1	17,337	4.1	△ 2.9
18 小計(1~17の計)	436,181	99.0	417,931	98.6	△ 4.2
19 輸入品に課税される税・関税	9,022	2.0	11,103	2.6	23.1
20 (控除)総資本形成に係る消費税	4,706	1.1	5,350	1.3	13.7
市内総生産(18+19-20)	440,497	100.0	423,684	100.0	△ 3.8

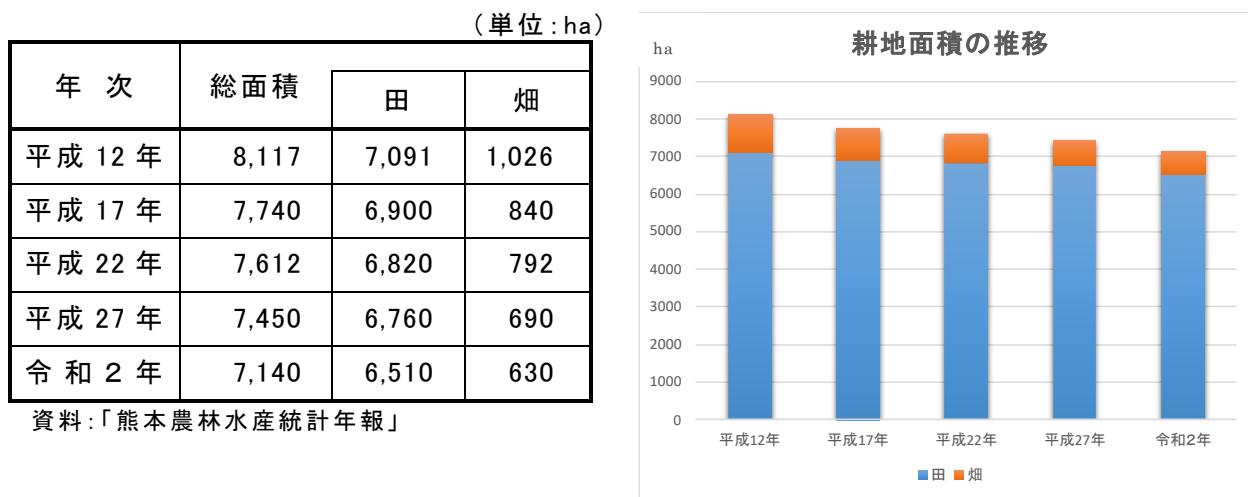
資料:令和4年度市町村民経済計算(熊本県)より

※毎年度、遡及改定あり

## 第2 本市農業の概要

### 1. 耕地面積

耕地面積は、宅地等への転用や山林化などにより年々減少してきています。令和2年の総面積は7,140haとなっており、平成22年の7,612haと比較し472ha減少(△6.2%)、平成12年の8,117haと比較し977ha減少(△12.0%)しています。



### 2. 農家数

総農家数は、令和2年が3,437戸となっており、平成22年の4,815戸と比較し1,378戸減少(△28.6%)、平成12年の5,592戸と比較し2,155戸減少(△38.5%)しています。

内訳をみると、販売農家数は2,657戸、自給的農家数は780戸でいずれも減少傾向です。

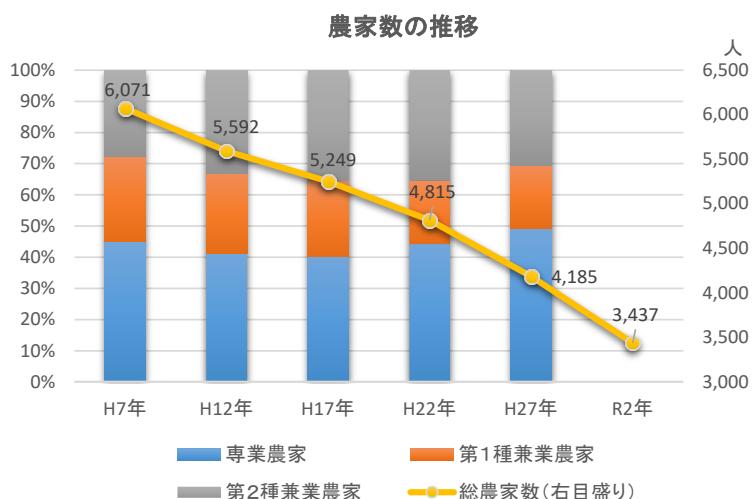
【各年2月1日現在】

年 次	総農家数	自給的農家数	販 売農家数	農家数		第1種	第2種
				専 業農家数	兼 業農家数		
平成12年	5,592	1,073	4,519	1,862	2,657	1,158	1,499
平成17年	5,249	1,240	4,009	1,615	2,394	963	1,431
平成22年	4,815	1,229	3,586	1,586	2,000	726	1,274
平成27年	4,185	1,025	3,160	1,556	1,604	637	967
令和2年	3,437	780	2,657	—	—	—	—

資料:「農林業センサス」

※「自給的農家」とは、経営耕地面積30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家

※専業・兼業農家数は、2020年農林業センサスより、調査項目から削除



### 3. 農業従事者数

自営農業従事者のうち農業就業人口は、令和2年が5,810人となっており、平成22年の8,034人と比較し2,224人減少( $\triangle 27.7\%$ )、平成12年の11,608人と比較し5,798人減少( $\triangle 50.0\%$ )しております。この20年間で約半数まで減少しています。

また、令和2年の農業就業人口を年齢別でみると、60歳以上が3,306人と、全体の56.9%を占める状況になっています。

【各年2月1日現在】

年次	農業従事者	農業就業人口			基幹的農業従事者		
			男	女		男	女
平成12年	14,616	11,608	5,667	5,941	9,013	4,728	4,285
平成17年	12,419	9,751	4,909	4,842	7,705	4,156	3,549
平成22年	10,642	8,034	4,159	3,875	6,305	3,534	2,771
平成27年	8,648	6,829	3,601	3,228	6,237	3,452	2,785
令和2年	7,491	5,810	3,294	2,516	5,765	3,261	2,504

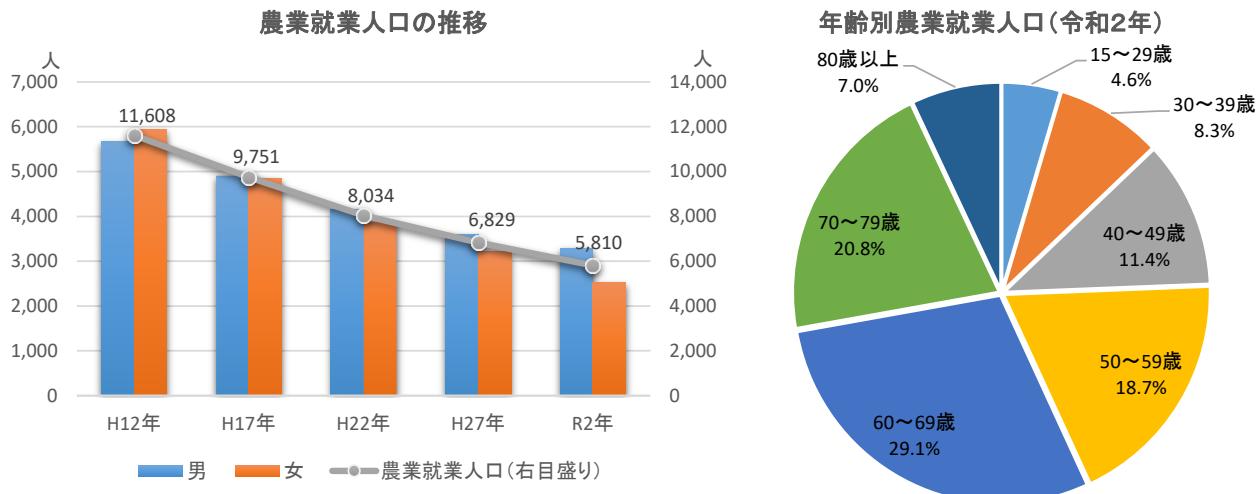
資料:「農林業センサス」

- ・「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者
- ・「農業就業人口」とは、調査期日前1年間に農業のみに従事した世帯員及び農業と兼業の双方に従事したが農業の従事日数が多い世帯員
- ・「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

#### ＜年齢別の農業就業人口＞

【令和2年2月1日現在】

総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
5,810	36	84	147	218	267	318	346
	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
	466	622	797	894	727	479	409



#### 4. 作付面積

令和 5 年の作付面積をみると、最も多いのは米で 3,740ha となっていますが、食生活の変化による米の消費減少や昭和 45 年から始まった生産調整等により作付面積は減少傾向にあります。

野菜類は 2,088ha で、なかでもブロッコリーが最も多く 850ha で、令和元年から 150ha 増加しています。次いで平成 29 年まで最も多かったトマトの 526ha となっています。

工芸作物は 382ha で、い草が最も多く 290ha となっていますが、生活様式の変化に伴う畠の需要減少に加え、中国産畠表や化学畠表などの増加などにより、作付面積はピーク時（4,537ha：平成元年）の約 6.4%まで減少しています。その他にもお茶やたばこが栽培されています。果樹は 126ha で、ギネス世界記録（かんきつ類・ザボン区・重量）にも認定された晩白柚（重量 5,528g※）をはじめ、不知火や温州みかんなどのかんきつ類のほか栗などが栽培されています。花きは 35ha で、電照菊・カラー・トルコギキョウ・ユリなどが栽培されています。

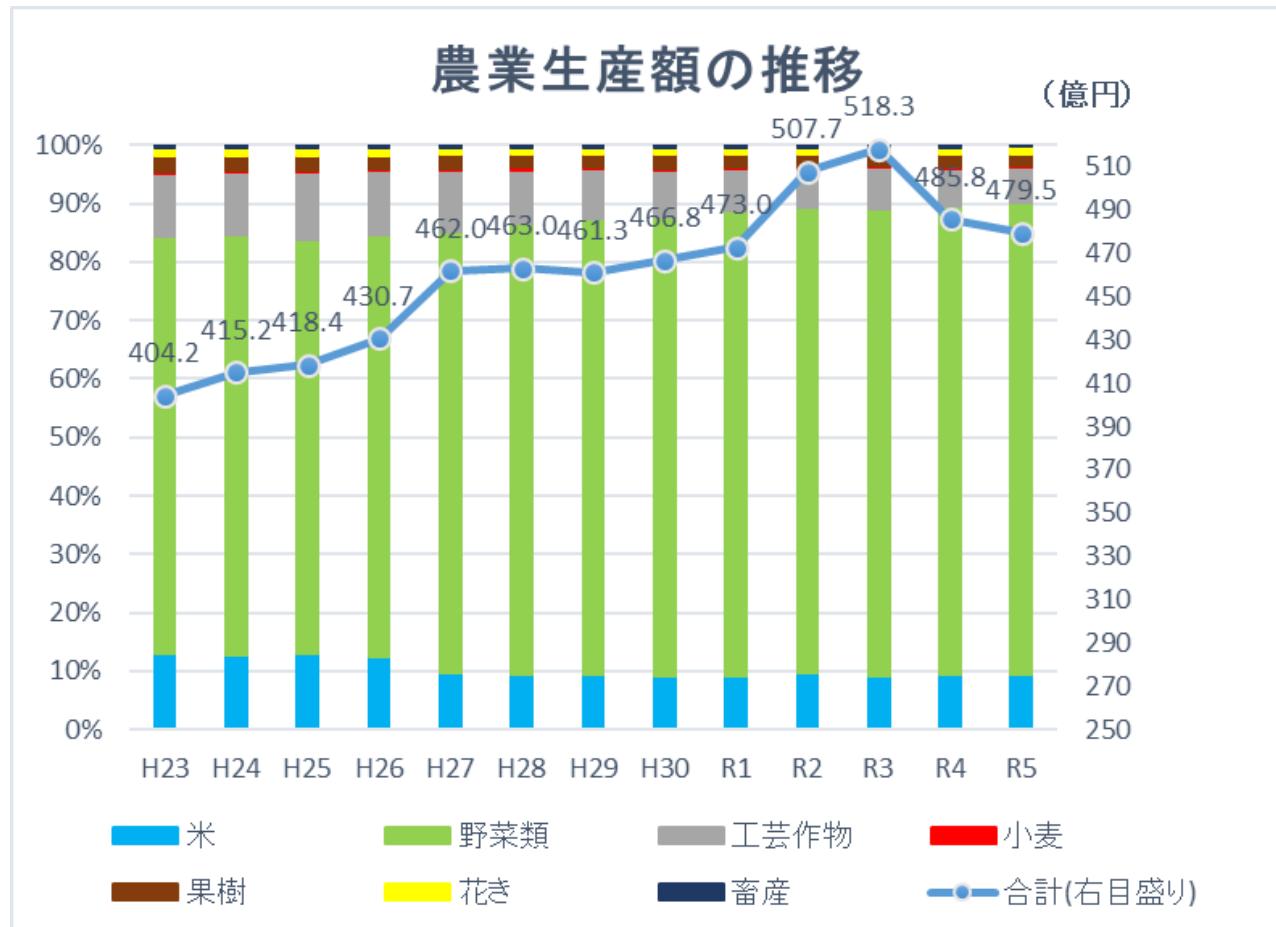
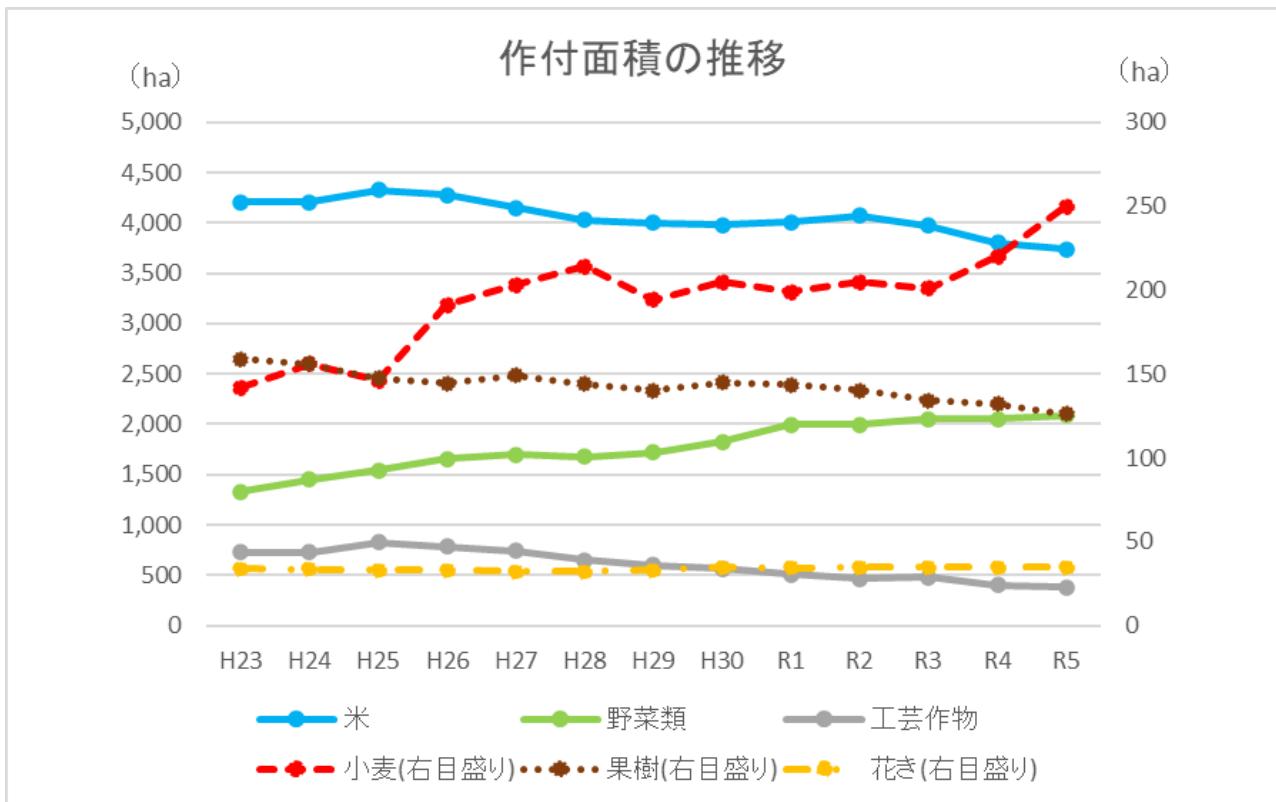
※初回認定(2005.1.28):4,858g、更新(2014.12.25):4,859.7g、更新(2021.1.20):5,386g、更新（2023.1.27）5,528 g

#### 5. 農業生産額

平成 18 年までは農林水産省による市町村別の農業生産額が公表されていましたが、その後は公表されなくなったため、作付面積及び熊本県農業経営指標に基づく標準総収入により八代市において推計を行っています。

令和 5 年の農業生産額は、約 479 億 5 千万円となっています。そのうち野菜類が 387 億 8 千万円（構成比:80.9%）で主な作物は、トマトが最も多く 309 億 3 千万円（同 64.5%）、次いで、ブロッコリー 36 億円（同 7.5%）、いちご 13 億 5 千万円（同 2.8%）、の順となっています。

い草等の工芸作物が 28 億 7 千万円（同 6.0%）、米が 44 億 5 千万円（同 9.3%）、晩白柚などの果樹が 9 億 7 千万円（同 2.0%）、花きが 5 億 7 千万円（同 1.2%）、畜産が 1 億 2 千万円（同 0.3%）、小麦等が 1 億 9 千万円（同 0.4%）となっています。



## 第3 課題及び対策

### 1. 生産対策

#### 【現状と課題】

- 本市では、生産量日本一のトマトやい草をはじめ、ブロッコリーやキャベツ等の露地野菜、晩白柚等の果樹、生姜や茶など海岸部から山間部にかけて様々な農作物が生産されています。しかし、農業従事者の減少・高齢化が進行しており、今後とも食料供給の一大産地として消費者のニーズに応えた農作物を安定的に提供できるよう、生産技術と供給体制の確立が必要となっています。
- 令和7年8月豪雨により、八代平野の大部分が冠水し、植付けされていた水稻や生姜、植付前のトマト・イチゴなどの施設野菜やキャベツ・ブロッコリーなどの露地野菜、い草などの苗、農業機械などが被害にあっており、復旧に向けた対策が課題となっています。
- 近年では、夏季の高温、記録的な集中豪雨や大型台風、冬季の低温など、生産の不安定化につながっており、気象災害に強い生産基盤の整備が必要となっています。また、燃油や生産資材の価格高騰に対し、省エネルギー化や生産コストの低減が課題となっています。
- 販売面においては、本市の農産物は市場において高い評価を得ているものの、一般消費者への認知度は高いといえない状況です。近年、情報ツールの発達により消費者は農産物がどこで・誰が・どのようにして作られたのかを容易に知ることができ、より安全・安心で品質の高い農産物の生産とその情報提供が求められています。しかしながら、本市で生産される多くの農産物においては、情報発信が十分とはいえない状況です。

#### 【対策】

- ICT技術を活用した高度環境制御技術による栽培システムの普及と気象災害に強い低コスト耐候性ハウスの導入により、高品質で安定した生産・出荷を図ります。また、集出荷貯蔵施設の再編・整備による安定供給・集荷体制の強化を図ります。
- い草・畳表生産に必要な草専用機械の導入支援や長寿命化の対策を行い、機械化体系の維持や生産体制の強化と産地維持に努めます。
- 農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、安全安心な農産物を生産・供給するために土づくりを基本として、慣行農法に比べて化学合成肥料や農薬を低減する取組に加えて地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を併せて行う環境保全型農業を推進します。
- 農産物の安全性確保や環境保全の改善等に有効なGAPの取得を推進し、国内需要への対応や輸出に必要なグローバルGAPの普及に向けた取組を推進します。
- 地理的表示(GI)保護制度において、既に登録されている、い草、い草畳表、晩白柚、生姜、塩トマトについては、地域ブランドとして有利販売ができるよう、関係機関と連携した取組を更に推進します。
- 信頼される農産物の産地として、消費者に生産履歴情報を提供するため、畳表のQRコードなどトレーサビリティにおいてもICTを活用し、八代市産畳表のブランド力を高めるよう情報発信を推進します。

- スマート農業技術やデジタル技術の実証実験などにより、農作業の負担軽減や効率化を推進し、担い手の確保や育成、稼げる魅力ある農業の構築へとつなげます。
- 令和7年8月豪雨被害に対しては、国や県の補助事業の活用に加え、市独自の事業も実施し、営農再開に向けて支援を行っていきます。

## 2. 担い手対策

### 【現状と課題】

- 新規就農者数は、近年20名程度で推移していますが、農業就業人口に占める60歳以上の割合は約57%と高齢化が進行しており、特に、坂本、東陽、泉の中山間地域ではその傾向が顕著になっています。  
新規就農者をはじめ、集落営農組織など多様な担い手の確保・育成が喫緊の課題になっています。

### 【対策】

- 農地関係の手続き、補助事業等の活用、生産面や経営面など農業全般に関する相談業務を専門的に行う営農支援員を農林水産政策課内に配置しています。  
特に、新規就農者対策として、青年等就農計画、新規就農者育成総合対策、農地の確保、制度資金等に関する相談対応のほか、就農後の定期的な巡回、経営計画の指導やフォローアップ等を重点的に取り組んでいます。

## 3. 食の拠点・ブランドづくり

### 【現状と課題】

- 人口減少や少子高齢化など、本市を取り巻く環境が厳しさを増す中、豊富な農林水産物などの地域が有するポテンシャルを最大限に活用した戦略が求められています。
- 地域内の生産物の価値をさらに高めていく6次産業化・農商工連携を、さらに進めることができます。そのため、食に関連する企業・研究機関の集積など、食の拠点づくりにつながる取組が必要です。

### 【対策】

- 豊かな自然と産業、特產品を活用した6次産業化・農商工連携を進め、高付加価値化を図ります。
- 食文化を活かした食育と健康づくりのPR活動を実施します。
- 食関連産業の振興とともに、広域交通利便性を活用した産業拠点づくりに取り組みます。

## 4. 国内外の販路・連携体制づくり

### 【現状と課題】

- 人口減少や少子高齢化など、本市を取り巻く環境が厳しさを増す中、豊富な農林水産物など、地域が有するポテンシャルを最大限に活用した戦略が求められています。
- 本市が持つポテンシャルを最大限に活かすため、生産品の国内外への販路拡大に向けた取組が求められています。
- 社会情勢の変化に対応するため、新たな販売方法の確立や販路の開拓が求められています。

○地域の素材や資源を活かした人材育成や関係者の連携の強化につながる取組が求められています。

○クルーズ乗船客をはじめ、高まりつつあるインバウンド需要への対応が求められています。

【対策】

○アジア・都市圏への流通拡大を図ります。

○社会情勢の変化に対応できる事業者の育成や新たな販路開拓の支援に取り組みます。

○担い手の育成と人材育成強化のための体制づくりに取り組みます。

○インバウンド需要に取り組みます。

## 【資料編】

### 令和6年度 農業関連対策事業実績一覧

(単位:千円)

事 業 名	事 業 内 容	事業実施主体等	事業費	負 担 区 分			
				国費	県費	市費	その他の負担
農地集積対策事業	<p>◆農地集積者支援事業 [内容] 規模拡大を行った者が機械等を導入する場合にその導入経費の1/2を助成 (上限 100万円) [実績] 経営体数:17経営体 集積面積:19.0ha</p>	農地集積者 17経営体	15,000			15,000	
中山間地域等直接支払交付金事業	<p>[内容] 農業生産条件の不利な中山間地域等において集落協定に基づき耕作放棄地の防止など農地の保全に取り組んだ集落への助成 [実績] 地区数:28地区 (協定面積=184.8ha)</p>	28地区(東陽13、泉2 坂本9、二見4)	26,745	13,181	6,782	6,782	
山村活性化支援対策事業	<p>[内容] 農林水産業を核とした地元の所得・雇用の増大に向けた地域資源の消費拡大や販売促進、付加価値向上を図る取組を支援 (補助率:定額)(上限1,000万円) [実績] 実施団体:2団体 ※市は事業主体に対し、国の交付金が下りるまでのつなぎ資金を支援</p>	ふれあい泉山村活性化協議会 坂本町山村振興協議会 計	9,912 10,000 19,912	9,912 10,000 19,912			

(単位:千円)

農村型地域運営組織形成推進事業	[内容] 中山間地域等において、地域別農業振興計画に基づき、収益力向上や販売力強化等に関する取組、複数集落の機能を補完する農村RMOの形成、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援 (補助率:定額)(上限1,000万円) [実績] 実施団体:1団体 ※市は事業主体に対し、国の交付金が下りるまでのつなぎ資金を支援	東陽農村RMO協議会	6,111	6,100			11
営農支援事業	[内容] 就農希望者、新規就農者、認定農業者等への相談・支援業務 [実績] 就農相談及び営農支援の件数:791件	八代市	3,797	1,500		2,297	
担い手育成総合支援事業	[内容] 認定農業者制度の普及・啓蒙のほか、八代農業塾を実施するため、八代市担い手育成総合支援協議会に対し活動費を助成 [実績] 認定農業者数:1,207人 担い手のための講座:全2回 八代農業塾:全11講座 (基礎講座:8講座 スマート農業特別講座:3講座)	八代市担い手育成総合支援協議会	3,062		1,042	1,170	850
農業次世代人材投資事業	[内容] 要件を満たした新規就農者に対して、年間150万円または120万円の交付金を交付(最長5年間) [実績] 取組経営体:8経営体(うち夫婦型2経営体)	認定新規就農者	9,730	9,730			
一般農業制度資金利子補給事業	[内容] 公的融資に対する利子補給事業 [実績] 利子補給者:23経営体	市内農業者	110		55	55	

(単位:千円)

新型コロナウイルス対策経営安定資金利子補給事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が悪化した農業者が借り入れた公的融資に対する利子補給事業 利子補給者:49経営体	市内農業者	3,647		2,381	1,266	
新規就農者育成総合対策事業(経営開始資金)	[内容] 要件を満たした新規就農者に対して、年間150万円の交付金を交付(最長3年間) [実績] 取組経営体:4経営体(うち夫婦型2経営体)	認定新規就農者	7,500	7,500			
新規就農者育成総合対策事業(経営発展支援)	[内容] 就農後の経営発展のための機械・施設等の導入を行う場合に必要な経費に対する助成 補助額:1,000万円上限(国1/2、県1/4以内) [実績] 取組経営体:2経営体	認定新規就農者	26,476	10,000	5,000		11,476
農地利用効率化等支援交付金事業	◆融資主体型補助 [内容] <補助率:3/10以内> 人・農地プランの中心経営体等が融資を受け、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、生産の効率化に取り組む場合に必要な農業用機械・施設等の導入経費に対する助成 [実績] 取組経営体:1経営体	市内農業者	10,120	3,036			7,084
経営継承・発展支援事業	[内容] 地域農業の担い手等の後継者が、経営継承後の経営発展に関する計画に基づく取組を行う場合に必要となる経費を支援する。 <補助率:国、市町村がそれぞれ1/2以内> ※100万円上限 [実績] 取組経営体:1経営体	市内農業者	1,619			500	1,119

(単位:千円)

土壤分析診断事業	[内容] 土壤の化学分析を実施し、適切な土壌管理による作物の安定生産への支援(分析料:2,030円 市内農業者は3検体まで減免) [実績] 土壤分析:415件(うち無料:271件 有料:144件)	八代市	517			517	
農事研修センター自主事業	[内容] 農業後継者、女性農業者等の育成及び農業経営に必要な技術・知識の習得に対する助成 [実績] 農業技術者養成講座:3回開催 生活研究グループ自主活動取組団体:1団体	生活研究グループ	82			82	
い業機械再生支援事業	[内容] い草専用機械の修繕又は整備に係る費用の半額を助成 上限額:・ハーベスター、織機、乾燥機、移植機 20万円 ・それ以外の専用機械 10万円 [実績] 145台に対して補助金を交付	い草生産農家 145名	20,186,000			10,093,000	10,093,000 ※ふるさと八代元気づくり応援基金を活用
畠表張り替え促進事業	[内容] 市内に所在する住宅において畠表の張替えを施工する者に対して張替えに係る費用の一部を助成 助成額 1千円/畠 上限 一般住宅 16千円 観光関連施設 110千円 [実績] 3,694畠に対して補助金を交付。	336世帯	3,694			3,694	
いぐさ畠表生産体制強化支援対策事業	[内容] い業専用機械の導入及びオーバーホール、機能強化を支援。 補助率:1/2以内 [実績] 畠表織機(中村式織機)の機能強化 6台 ・オーバーホール ・機能強化	生産者 5名	10,511			5,253	5,258

(単位:千円)

強い農業づくり支援事業	[内容] 農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化に資する取組を支援 [実績] ◆集出荷貯蔵施設の整備	株式会社山田ファーム	181,027	82,285			98,742
環境保全型農業直接支払交付金事業	[内容] 環境保全に係る営農活動を支援 [実績] ◆堆肥の施用(218a)、有機農業(3467a)、冬期湛水(436a)、総合防除(67a)の実施	環境保全型農業技術研究会八代支部 他3事業主体	5,018	2,509	1,254	1,255	
八代市施設園芸燃油価格高騰対策支援事業	[内容] 施設園芸の加温用に購入したA重油・灯油に対して5円/l、LPガスに対して5円/kgを補助 [実績] ◆燃油23,017,538L、灯油37,265L、LPガス13,912kgの合計23,068,715L/kgに対して補助金を交付	農業者(547人)	115,344	115,344			
鳥獣被害防止総合支援対策事業	[内容] 総合的な鳥獣被害対策の取組を支援 [実績] ◆ワイヤーメッシュ柵(5,214m)の導入	八代市有害鳥獣被害対策協議会	9,077	9,077			
攻めの園芸緊急生産対策事業	[内容] 農産物販売価格の向上、生産量増大、生産経費削減に資する取組を支援 [実績] ◆谷自動換気施設(134台)の導入 ◆自動内張開閉装置(48台)の導入 ◆炭酸ガス発生装置(5台)の導入 ◆養液灌水施設(3式)の導入	八代地域農業協同組合園芸部会	34,092		10,329		23,763

(単位:千円)

八代市トマト黄化葉巻病地域対策事業	[内容] トマト黄化葉巻病対策として実施する地区的除草等に要する経費を補助 [実績] ◆除草剤、草刈り刃等の購入経費支援	地区作業部会(78地区)	2,096			2,096	
八代市晩白柚生産支援事業	[内容] 晩白柚生産の維持・拡大、品質向上に資する取組を支援 [実績] ◆晩白柚の新植150本 ◆被覆不織布(タイベック35本)の導入	農業者(13人)	426			194	232
八代市農作物有害鳥獣防護柵設置事業	[内容] 鳥獣被害対策に係る取組を支援 [実績] ◆電気柵、WM柵等の導入 導入箇所数:16箇所	農業者(16人)	1,134			307	827
収穫体験事業	[内容] 本市の豊富な農林水産物を観光資源ととらえ、農林水産業体験に取組む事業者等を支援する。	株式会社 グローカルプロジェクト	500				500
八代市収穫体験等事業補助金	[内容] 収穫体験を実施する事業者に対し、収穫体験に必要な経費を補助するもの。	5事業者	207				207
くまもと県南フードバレー推進協議会負担金	[内容] くまもと県南フードバレー推進協議会負担金	くまもと県南フードバレー推進協議会(熊本県、県南15市町村)	4,341			4,341	
くまもとうまかもん輸出支援協議会負担金	[内容] 展示会・商談会・フェア等の情報提供及び出展支援、セミナー開催等による人材育成支援	くまもとうまかもん輸出支援協議会	412			412	
サンプル発送業務委託	[内容] 提案サンプルの手配、発送手数料	株式会社肥後畠表中央市場	600			600	

(単位:千円)

トマトフェスタ開催補助金	[内容] トマトフェスタ開催補助金	トマトフェスタ実行委員会	400			400	
国内マーケティングアドバイザー委託	[内容] 中食・外食産業等及び域内事業者等への事業者訪問、本市農林水産物等の提案	1名	2,200	1,100		1,100	
海外マーケティングアドバイザー委託	[内容] 域内事業者等への事業者訪問、輸出等に向けた助言。	1名	1,805	903		902	
商品開発アドバイザー委託	[内容] 域内事業者等への事業者訪問、新商品開発・経営戦略への助言	1名	1,656	828		828	
海外販路拡大業務委託	[内容] 台湾での八代フェア開催、食品見本市出展にかかる業務委託	(株)マインド	8,041	4,020		4,021	
貿易実務業務委託	[内容] 市主催の海外イベントにおいて、事業者の輸出入に関する手続きの支援	天水トレード(株)	561	281		280	
輸出相手国ニーズ調査事業業務委託	[内容] 海外展開・輸出に係るセミナー、海外バイヤー招聘等	(一社)熊本県貿易協会	1,499	750		749	
デジタルセールス事業業務委託	[内容] シンガポールへの輸出に向け、現地インフルエンサーを活用したライブコマースを実施	(株)グローバルトレーディング	300	150		150	
新市場輸出実証事業業務委託	[内容] 新市場開拓のため、アジア圏域を対象としたテストマーケティング実施	(株)Japan Navi	1,800	900		900	
農林水産物輸出リーファーコンテナ利用補助金	[内容] リーファーコンテナを利用し、八代港から農林水産物等を輸出する際の補助	1団体	100	50		50	
熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会負担金	[内容] 香港小売店舗での晩白柚プロモーションの実施	熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会	1,216	608		608	
八代産量表認知向上・需要拡大事業負担金	[内容] 八代産量表の認知向上・需要拡大のためのPR事業の実施	八代産量表認知向上・需要拡大推進協議会	13,770			3,590	10,180

## 2. 八代市単独事業実績

### 八代市農地集積対策事業（農地集積者支援事業）

#### 1. 事業の目的

い草の栽培面積の減少により冬場に利用されていない農地や今後遊休化が懸念される高齢農家や兼業農家が所有する農地について、担い手農家への集積を促進し、露地野菜等の土地利用型農業の推進を図ります。

#### 2. 事業概要

認定農業者等が、5年以上の新規の賃借権設定等にて、事業実施年度の前々年度以降に農地を1ha（中山間地域は0.2ha）以上、又は0.5ha以上の規模拡大を行い、その規模拡大に必要となる機械等を導入する場合に、その導入経費の1／2以内（上限：100万円又は50万円）を助成。

#### 3. 事業実績

令和6年度は、事業の活用により19.0haの農地集積が図られました。

事業名	件数	集積面積 (ha)	補助金額(円)
農地集積者支援事業	17	19.0	15,000,000



## 営農支援事業

### 1. 事業の目的

農業従事者の高齢化が急速に進んでいるなか、就農前の相談から就農後の生産面・経営面などを総合的にサポートするワンストップ窓口としての営農支援室を設置し、将来の本市農業を担う農家の育成・確保に早急に取り組みます。

### 2. 事業概要

営農支援員1名を配置し、就農希望者、新規就農者、認定農業者、希望する農家等の相談業務・支援業務を行います。

#### ①就農希望者の相談業務

就農認定、新規就農者育成総合対策事業、農地、資金の確保などの相談のほか就農後の定期的な巡回指導等

#### ②農業全般の相談業務

生産・経営・6次産業化などに関する相談対応

#### ③担い手育成関連業務

青年等就農計画及び農業経営改善計画作成時のアドバイス、農家の意向調査等

18

### 3. 事業実績（事業費：3,797千円）

就農相談件数	63 件
新規就農者数	17 人
営農支援(フォローアップ)件数	740 件
認定農業者数	1,207 人



# 土壤分析診断事業

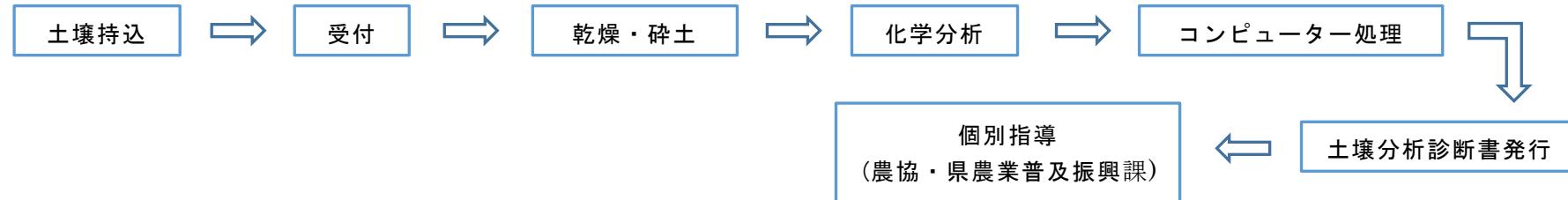
## 1. 事業の目的

市内に居住する農業者等の土壤状態を定期的に化学分析することで適切な土壤管理につなげ、土の酷使からくる土壤の劣悪化を回避し、安定した生産性の高い農業の実現を目指します。また、化学分析結果をもとにした適切な施肥管理を行うことで過剰施肥を防ぎ、生産コスト低減による経営の安定化を図ります。

## 2. 事業概要

土壤・作物体総合分析装置により 10 項目 (pH・EC・腐植・アンモニア態窒素・硝酸性窒素・置換性石灰・苦土・加里・有効態磷酸・CEC) の化学分析を行います。分析結果は、項目ごとに過不足等のコメント及び土壤改良に必要な資材の施用量を記載した土壤分析診断書を発行しています。令和 6 年度は「土壤分析診断支援事業」として市内農業者の分析手数料を 3 検体まで無料としています。

### <事業フロー図>



## 3. 事業実績（事業費：517 千円）

令和 6 年度分析件数：415 件（うち無料：271 件、有料：144 件）



## 農事研修センター自主事業

### **1. 事業の目的**

農業担い手の減少や農業者の高齢化が進んでいる現状の中、農家の持続的発展と効率的かつ安定的な農業経営を目指す人材の育成と確保を図る。

### **2. 事業概要**

農業の維持・活性化に大きく貢献している女性や高齢者の自立的活動を支援するとともに、新規就農者の確保と育成を推進する。

### **3. 事業実績（事業費：82千円）**

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| ○生活研究グループ自主活動補助 | : 45千円 × 1 団体              |
| ○担い手のための農業講座    | : 1月、2月、3月(3講座) 講師謝礼等 37千円 |

# 八代市い業機械再生支援事業

## 1. 事業の目的

い草の専用機械の老朽化、機械メーカーの撤退等のい草生産者を取り巻く危機的状況を打破し、い草産地として元気と活力の回復を図ります。

## 2. 事業概要

い草の専用機械再生（修理・オーバーホールなど）に要する費用に対し助成を行います。

### <交付対象者>

本市に住所を有するい草生産者及び加工業者

### <補助金額>

補助対象事業に要する費用の額（消費税及び地方消費税額を除く。）に2分の1を乗じて得た額

上限：ハーベスタ、移植機、織機、乾燥機 20万円

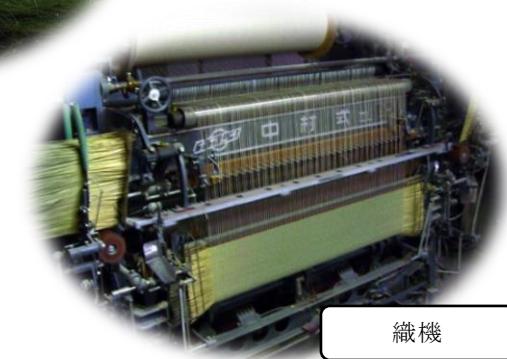
上記以外の専用機械 10万円

### <対象機械>

ハーベスタ、織機、乾燥機、選別機、移植機、苗掘取機 等

## 3. 事業実績（事業費：46,604千円）

対象機械	事業費	補助金	取組件数
ハーベスタ	32,694千円	14,871千円	101件
織機	4,679千円	2,010千円	11件
苗掘取機	4,194千円	1,535千円	16件
その他	5,037千円	1,770千円	17件
合計	46,604千円	20,186千円	145件



# 八代市畳表張替え助成事業

## 1. 事業の目的

八代市民が行うQRコードタグを挿入した八代市産畳表による畳張替えに対しその費用を一部助成することにより、主要産地である八代市における国産畳のシェア拡大とQRコードタグの普及を図ります。

## 2. 事業概要

市内に所在する住宅の畳表の張替えを施工する者に対して張替えに係る費用の一部を助成します。

令和6年度から旅館、飲食店、観光関連施設など多くの人が集まる施設も対象となりました。

### <助成対象者>

(1) 八代市小規模工事等契約希望者登録制度による登録をしている畳店で畳表の張替えを施工すること。

(2) 次に掲げる住宅や施設において施工するものであること。

一般住宅：畳表の張替えを施工しようとする者（市内に住所を有する者に限る。）が居住する住宅（住所地に所在するものに限る。）

観光関連施設：市内の宿泊、飲食店、観光関連施設など市民や観光客が多く利用する施設等（施設の事務所等、観光客等が利用する場所の張替えに限る。）

(3) 畳表の張替えにおいて使用する畳表は次に掲げるものであること。

ア. 生産地が熊本県八代市と記載してあるQRコード付きタグが挿入された畳表であること。

イ. 畳店を流通した畳表であること。

(4) 令和7年3月31日までに施工し、畳表の張替えを発注した者に引き渡すものであること。

### <補助金額>

1,000円/1畳（一般住宅：上限16畳、観光関連施設：110畳）

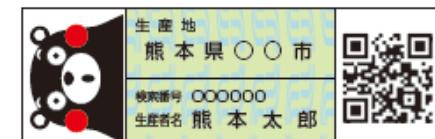
## 3. 事業実績（事業費：3,694千円）

○割引券発行畳数 3,694畳

○割引券発行者数 一般住宅：332件

観光関連施設：4件

○事業実施主体 八代市小規模工事等契約希望者登録畳店 31店



# 八代市農作物有害鳥獣防護柵設置事業

## 1. 事業の目的

イノシシ、シカなどの獣類及びカモ・スズメ・ハト類・カラス類・ヒヨドリなどの鳥類による農作物の被害を防止する。

## 2. 事業概要

農業所得の申告を行っている者又は3アール以上の農地を耕作している者を対象として、農地1箇所当たり補助対象経費の1／2（上限2万円）を限度とし、有害鳥獣侵入防止のために設置する防護柵、防鳥ネット等の購入に係る費用の一部を助成する。

※ただし、補助対象となる設置箇所数は1人2箇所まで4万円を限度とする。

## 3. 事業実績（事業費：1,134千円）

- 設置箇所数 16箇所、農業者 16人実施
- 設置面積 272.61a
- 事業費内訳

種類	箇所数 (箇所)	設置面積 (m <sup>2</sup> )	事業費 (円)	市補助金 (円)
電気柵	14	26,408	1,045,521	270,500
ワイヤーメッシュ柵	2	853	88,362	36,300
合計	16	27,261	1,133,883	306,800



## 八代市晩白柚生産支援事業

### 1. 事業の目的

晩白柚の新植・改植・補植及び被覆不織布（タイベック）の導入を支援することで、晩白柚の生産の維持及び拡大並びに品質向上を図る。

### 2. 事業概要

農業所得の申告を行っている者又は晩白柚の販売が証明できる者で、事業の完了後5年以上晩白柚の栽培による営農の見込みがある者に対して、補助対象経費の1/2を限度とし、苗木、被覆不織布（タイベック）の購入に係る経費の一部を助成する。

### 3. 事業実績(事業費：426千円)

-24-

総事業費：425,450円

市補助金：193,200円

事業主体：農業者13人（新植1人、被覆不織布（タイベック）12人）

実施面積：446a（新植18a、被覆不織布（タイベック）428a）

実施内容：新植150本、被覆不織布（タイベック）35本（1750m<sup>2</sup>）



## 八代市トマト黄化葉巻病地域対策事業

### 1. 事業の目的

ハウス周辺の除草作業等を徹底することで、トマト黄化葉巻病のまん延防止を図る。

### 2. 事業概要

地区で実施する除草作業等に要する経費（消耗品費、借用料、燃料費等）を助成する。

補助率：定額（上限額：30,000円/地区）

25

### 3. 事業実績（事業費：2,096千円）

総事業費：2,095,726円

市補助金：2,095,726円

事業主体：各地区作業部会（78地区）

実施内容：地区内の草刈・農薬防除等



# 農林水産物輸出リーファーコンテナ利用補助金

## 1. 事業の目的

八代港の国際コンテナ定期航路及び国内コンテナ定期航路を利用した農林水産物（加工品を含む）の輸出促進を目的として、リーファーコンテナで輸出する荷主に対し補助金を交付します。

## 2. 事業概要

### 【対象者】

補助金の交付を受けようとする年度に八代港の国際コンテナ定期航路又は国内コンテナ定期航路を利用する企業（個人経営の企業を含む）であって、次のいずれかの要件を満たすものとします。

- (1) リーファーコンテナで農林水産物を輸出する八代市内の荷主であること。
- (2) リーファーコンテナで八代地域の農林水産物を輸出する荷主であること。

### 【対象経費】

海上運賃、ターミナル取扱費用、書類作成費用、コンテナ封印費用、燃油割増料、通貨調整料、通関手数料、貨物取扱手数料、貨物のコンテナ搬入に係る費用、港湾内のコンテナ輸送費、貨物のラベル貼付に係る費用 など

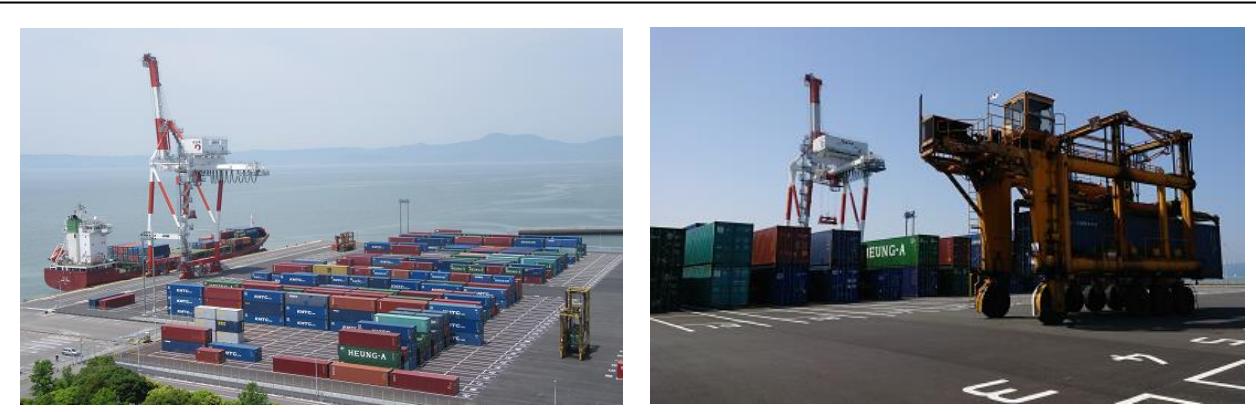
### 【補助金額】

補助対象経費の額に2分の1を乗じた額（1,000円未満の端数は切り捨て）とし、20フィート又は40フィートのコンテナ1個あたりの上限額は10万円とします。

## 3. 事業実績（事業費：100千円）

### 【交付対象事業者数】

1 事業者



八代港コンテナターミナル

### 3. 地区別農家数及び販売規模別農業経営体数

【令和2年2月1日現在】

地区名	総農家数	自給的農家数	販売農家数	農業経営体数(農産物販売金額規模別)								
				50万円未満	50~100	100~300	300~500	500~1000	1000~3000	3000~5000	5000~1億	1億円以上
市全体	3,437	780	2,657	423	283	411	212	359	622	173	144	32
太田郷	133	38	95	28	18	16	6	14	11	1	-	-
松高	114	21	93	17	12	11	6	5	32	5	4	3
代陽・八代	12	6	6	1	-	1	-	-	1	-	-	-
植柳	86	29	57	9	11	8	7	3	11	3	2	3
郡築	337	29	308	28	22	34	17	24	72	50	63	8
龍峯	122	14	108	18	11	28	10	21	20	-	-	1
金剛	397	34	363	43	30	61	20	56	113	28	14	-
高田	119	31	88	12	12	11	6	19	14	1	1	-
宮地	36	20	16	5	2	3	2	-	-	-	-	-
八千把	125	26	99	26	16	18	3	9	15	4	8	2
昭和	130	9	121	5	4	5	5	11	41	24	24	5
日奈久	118	22	96	11	18	32	8	12	5	2	-	-
二見	171	75	96	31	9	12	8	7	2	-	-	-
千丁	306	40	266	34	26	37	30	36	80	14	3	1
鏡	614	72	542	54	38	61	38	100	173	37	24	9
坂本	215	115	100	50	15	11	1	1	-	-	-	-
東陽	278	113	165	13	18	37	27	28	21	-	-	-
泉	124	86	38	6	4	7	10	-	-	2	-	-

資料:「2020年農林業センサス」

※「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

「農業経営体」とは、経営耕地面積が30a以上の規模の農業、事業の規模が一定の基準以上の農業、または農作業の受託のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

#### 4. 地区別農業従事者数(男女別、年齢別)

【令和2年2月1日現在】

地区名	農業従事者数							年齢別の農業従事者数						
		男	女	基幹的農業従事者	男	女	15歳～24歳	25歳～34歳	35歳～44歳	45歳～54歳	55歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	
市全体	7,113	3,867	3,246	5,162	2,926	2,236	207	452	702	972	1,666	1,870	1,244	
太田郷	253	144	109	158	95	63	9	16	25	23	59	79	42	
松高	279	148	131	206	117	89	8	28	21	45	55	64	58	
代陽・八代	15	10	5	7	4	3	1	3	3	2	2	4	-	
植柳	163	91	72	118	65	53	4	14	17	17	35	40	36	
郡築	937	509	428	733	411	322	35	105	128	138	196	196	139	
龍峯	245	138	107	187	108	79	1	8	15	29	67	90	35	
金剛	1005	546	459	748	418	330	35	65	92	166	254	262	131	
高田	206	113	93	157	90	67	10	9	18	31	42	50	46	
宮地	24	15	9	17	10	7	-	1	2	2	4	7	8	
八千把	262	136	126	154	92	62	13	15	36	33	51	69	45	
昭和	370	194	176	323	177	146	10	24	50	66	88	75	57	
日奈久	229	122	107	131	79	52	13	8	18	28	35	80	47	
二見	191	104	87	116	67	49	1	5	11	15	49	66	44	
千丁	656	356	300	480	271	209	9	21	60	92	181	187	106	
鏡	1407	756	651	1082	606	476	45	94	156	204	339	344	225	
坂本	198	115	83	86	53	33	4	5	9	22	38	58	62	
東陽	358	196	162	251	142	109	8	12	18	27	101	101	91	
泉	70	38	32	48	30	18	-	5	4	6	15	25	15	

資料:「2020年農林業センサス」

※「農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者をいう。

「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

## 5. 主要農畜産物生産の推移(品目別)

(単位:ha、トン、千万円)

年 次	米			小 麦			トマト			メロン			いちご		
	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成26年	4,280	21,800	538	191	598	13	470	56,720	2,359	90	3,150	100	35	1,242	154
平成27年	4,150	20,500	444	203	443	14	496	58,210	2,661	85	2,975	120	20	792	117
平成28年	4,030	21,300	431	214	379	15	494	61,060	2,652	80	2,800	113	35	1,242	204
平成29年	4,000	21,400	428	194	438	13	500	58,890	2,693	71	2,324	100	35	1,148	204
平成30年	3,980	21,400	426	205	473	14	506	67,750	2,727	71	2,640	100	35	1,289	204
令和元年	4,010	20,200	429	199	631	14	522	68,100	2,779	71	2,300	100	33	1,200	192
令和2年	4,070	20,400	484	205	677	15	532	70,120	3,075	52	2,112	77	26	1,200	146
令和3年	3,970	20,300	472	201	728	15	531	68,180	3,120	65	2,585	97	28	1,207	157
令和4年	3,800	18,500	452	220	733	17	528	66,000	3,101	60	2,228	89	30	1,387	169
令和5年	3,740	19,400	445	250	775	19	526	67,310	3,093	60	2,240	89	24	960	135

年 次	キャベツ			レタス(冬レタス)			ブロッコリー			しょうが			馬鈴薯(春植え)		
	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成26年	291	10,930	101	153	5,430	69	340	3,060	100	72	3,312	155	139	3,880	50
平成27年	296	10,710	116	159	4,710	106	380	3,610	143	72	3,528	155	129	3,750	47
平成28年	274	9,158	107	146	5,410	97	374	3,366	141	70	3,320	151	126	3,350	46
平成29年	268	8,252	105	163	5,300	109	408	3,869	153	68	3,255	147	139	3,760	51
平成30年	259	9,500	101	173	6,160	116	530	4,770	199	65	2,990	140	125	3,340	46
令和元年	260	10,360	102	177	6,920	118	700	6,300	263	65	2,925	140	110	2,820	40
令和2年	235	7,580	88	188	6,260	118	740	8,133	314	50	1,200	147	104	2,320	38
令和3年	219	6,826	82	176	6,280	110	803	7,569	340	47	1,632	138	103	2,830	38
令和4年	224	7,172	84	180	6,520	113	803	7,569	340	38	1,672	111	102	2,820	37
令和5年	232	8,170	87	178	6,920	112	850	7,650	360	32	1,425	94	103	2,820	38

資料:農林水産省「作物統計調査」、熊本県「主要野菜生産状況調査」「果樹振興実績調査」「花き産地生産出荷事情調査」「畜産統計」「農業経営指標」、八代市調べ

(注)生産額は八代市推計値

(単位:ha、トン、千万円)

年次	い草			たばこ			晩白柚			温州みかん			不知火		
	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額	作付面積	収穫量	生産額
平成26年	601	8,233	371	35	99	20	49	690	56	37	409	28	8	150	16
平成27年	567	6,294	408	33	74	15	51	500	63	37	377	27	8	160	16
平成28年	517	6,721	372	33	68	15	51	530	63	36	369	27	8	150	16
平成29年	470	6,956	338	32	73	15	51	620	63	36	364	27	8	180	16
平成30年	443	6,156	319	31	75	15	51	650	63	36	405	27	8	190	16
令和元年	389	5,841	280	30	77	15	51	645	63	36	323	27	8	220	16
令和2年	346	5,149	291	29	65	15	51	590	58	36	284	29	8	190	17
令和3年	369	5,235	310	27	78	14	50	620	57	34	258	27	8	225	17
令和4年	313	4,781	263	11	28	6	48	580	55	32	172	25	8	207	16
令和5年	290	4,450	244	12	36	6	47	570	53	29	186	23	7	215	16

(単位:戸、頭、箱)

年次	乳用牛		肉用牛		養豚		養蜂	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	箱数
平成26年	3	166	5	57	4	86	10	1,739
平成27年	3	165	3	17	2	67	10	1,955
平成28年	3	156	4	24	2	34	10	2,262
平成29年	3	129	4	25	1	13	10	2,229
平成30年	3	130	4	27	0	0	15	2,313
令和元年	3	130	2	18	0	0	19	2,484
令和2年	3	130	3	25	0	0	21	2,569
令和3年	3	132	2	44	0	0	21	2,690
令和4年	3	169	2	29	0	0	21	2,654
令和5年	3	88	2	8	0	0	23	2,801

資料:農林水産省「作物統計調査」、熊本県「主要野菜生産状況調査」「果樹振興実績調査」「花き产地生産出荷事情調査」「畜産統計」「農業経営指標」、八代市調べ

(注)生産額は八代市推計値、養蜂の箱数は八代市内に設置された箱数

## 6. 農地流動化の状況

(単位: m<sup>2</sup>)

		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
3 条	所有権移転	56	176,305	52	129,555	82	329,422	190	635,282
	使用貸借	-	-	1	36,021	-	-	1	36,021
	賃借権	-	-	-	-	-	-	0	0
	その他	4	16,547	1	2,798	4	5,211	9	24,556
	計	60	192,852	54	168,374	86	334,633	200	695,859
4 条	許可	36	20,180	26	9,486	25	6,327	87	35,993
	計	36	20,180	26	9,486	25	6,327	87	35,993
5 条	所有権	130	138,940	111	94,532	120	131,198	361	364,670
	賃借権	4	4,607	14	6,178	9	5,332	27	16,117
	使用貸借	14	5,461	5	5,038	12	4,987	31	15,486
	計	148	149,008	130	105,748	141	141,517	419	396,273
経 営 基 盤 強 化 法	所有権移転	96	398,729	67	306,467	83	350,105	246	1,055,301
	利用権設定	524	2,511,822	471	2,810,074	460	2,866,997	1,455	8,188,893
	うち農地中間管理機構分	157	628,438	144	855,283	152	1,273,961	453	2,757,682
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	620	2,910,551	538	3,116,541	543	3,217,102	2,154	12,001,876

資料:八代市農業委員会調べ